

来週の「売り物」記事はこれ



2010年12月3日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

コレステロール論争を追う①②

くらしナビA面 16、17日



医師や栄養士の一部が「コレステロールが高いと長生きする」という学説を唱え、長寿のための新ガイドラインを発表しました。コレステロール値が高い場合に薬を飲むべきなのか、低かった場合はどんな病を疑うべきか……などを調べてみました。

あなたの処方箋 過敏性腸症候群

くらしナビA面 14～17日

おなかが痛く不快感があり、下痢や便秘を繰り返していませんか？ 過敏性腸症候群は「各駅停車症候群」とも呼ばれ、通勤通学の車内で多くの現代人を悩ませています。ストレスとの関係が深いこの病、原因や対処法をお伝えします。



どうなるブレンド米の表示

くらしナビA面 14日



ディスカウントストアなどで買える「格安米」に、くず米が多く含まれていることがあります。こうしたブレンド米は産地の内訳や品種を表示しなくてもよいルールがあり、消費者団体らは問題視。来年7月からルールを厳しくすることも検討されていますが……。

「花園から世界へ」高校ラグビーの今を考える――運動面インサイド

14日から連載

若い力がぶつかり合う全国高校ラグビーフットボール大会が27日から1月8日まで、東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開催されます。第90回記念の今回は、全国の予選を勝ち抜いた55校が出場し、熱戦を繰り広げます。注目の大会を前に、運動面では、高校ラグビーの現状をリポートする企画「インサイド」を14日から5回にわたって連載します。日本で開催される2019年ワールドカップに向けて、高校生年代の強化は日本ラグビーの重要課題。高校生の指導者のレベルアップ、日本独自の戦法の確立など、これまでなかった、さまざまな取り組みを紹介します。



ロングインタビュー「時代を駆ける」

夜間中卒で大学院特任教授になった高野雅夫さん

16日から7回



ロングインタビュー「時代を駆ける」は、夜間中学卒業で立教大学大学院特任教授を09年度に務めた高野雅夫さん（70）＝写真＝が登場します。

高野さんは旧満州（現中国東北部）生まれの戦災孤児。15歳の時、東京・山谷で廃品回収をしていたおじいさんに拾われ、初めて自分の名前をひらがなでどう書くか知ったといいます。夜間中学の存在も、そのおじいさんから教わりました。

夜間中学では、さまざまな理由で義務教育を受けられなかった人々が学びます。公立の夜間中は世界で類をみない素晴らしい制度だと高野さんは力説し、財政問題で援助が大幅にカットされつつある中、存続を訴えます。

教育活動家としての歩み、学歴の考え方、大学院の特任教授になって見えたもの……などを、飾らぬ言葉で語ります。

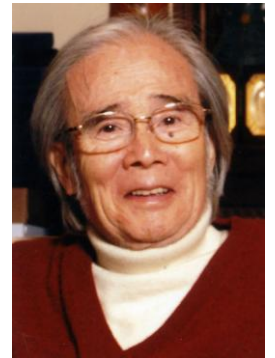
ザ・特集

歌は世につれ世は歌につれ…

星野哲郎さんと「昭和」

16日（木）

今年11月に急逝した作詞家の星野哲郎さん＝写真＝は、自らの歌を「紙の舟」にたとえました。はかなくあっという間に消えてしまうけど、夢や思いを聞く人の心に届けたい——という願いがこめられていたといいます。星野さんの作品は「演歌」にくくられますが、自身は人との出会いを歌う「縁歌」、人を励ます「援歌」と呼んでいました。「アンコ椿は恋の花」「函館の女」「昔の名前で出ています」……。昭和のにおいを色濃く残した星野哲郎さんの名歌。作詞家のなかにし礼さん、「三百六十五歩のマーチ」の歌手、水前寺清子さんと一緒に、星野歌謡の世界に思いを馳せました。



“知りたいが分かる”がモットーの「ザ・特集」に、ご期待下さい。

紙面事情などにより掲載日が変更になることがあります。